

やまこの学校

取組に至る背景・事業の目的

安曇野市穂高有明地方で天明年間より天蚕（やまこ）の飼育が始まり、現在までの期間に飼育体験、繰糸や加工などの技術継承が行われ、「安曇野・穂高天蚕糸」は日本の他にはない貴重、希少な商材として流通している。しかし、近年は安曇野市内でも天蚕の存在を知らない市民も多い状況にあるので、「やまこの学校」の会員が中心となって、飼育体験、生涯学習講座、飼育林保全活動などの事業を通して天蚕を市民に広く知ってもらい、関わりを持っていただくことで、伝播、時代継承を図ることを目的とした。

事業内容

- 連続講座開催
座学から始まり、卵を付けてから飼育・管理、繭の収穫、作品の制作までの一連を学ぶことにより、天蚕への理解を深めた。
4月～9月 計8日開催 のべ332名参加
- 体験講座、出前講座
学校や市民講座に出前し、市民や小中学生、大学生などに天蚕を周知
5月～11月 計9日開催 のべ158名参加
- 天蚕飼育林の整備
天蚕林整備を随時実施（4月～12月）



【 連続講座（収穫）の様子 】

事業効果

連続講座参加者のアンケートで50%の参加者から「ぜひまた参加したい」、残り50%からは「都合がつけば参加したい」という高い評価を得た。

新聞、テレビなどで取り上げられ、参加者のみならず広く一般に天蚕の周知を図ることができた。学校関係でも天蚕ワークショップなどを取り入れる動きが出てきている。

繊維関係メーカーが新たな製品開発に挑戦するなど、天蚕製品の可能性が広がった。

天蚕センター入場者数が前年同区間比20%増加、「安曇野天蚕振興会」（天蚕センター）の広報に寄与した。（4月～11月入場者計 H24 2,747人 → H25 3,346人）

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今後は、以下の取組を行っていく。

- ・天蚕飼育農家希望者に、各種指導を行い、後継者を育成する。
- ・連続講座終了者に里山整備に参加していただき、環境整備に関わっていただく。
- ・天蚕関係者のうち高齢の方の記録VTRを制作、貴重な歴史や体験を後世に継承する。
- ・天蚕に関する書籍発行を目指し、資料を収集し、写真撮影などをすすめる。

【選定のポイント】

認識が低下していた穂高有明地方の特産である天蚕の周知をはかり、伝播・時代継承に貢献した。また、繊維関係メーカーの製品開発の動きが出るなど、安曇野の新たな地域ブランドとして発展していくことも期待でき、波及効果の大きい事業であることが評価できる。

団体名	やまこの学校（安曇野市）	事業タイプ	（ソフト事業）
連絡先	090-4464-9771（担当 野中）	事業費	634,998円
ホームページ	http://yamakonogakko.web.fc2.com/	支援金額	473,000円